

# ワイ・ケー・ピー工業株式会社（岐阜県中津川市） ～福利厚生を通じて「人と人がつながる職場」をつくる～

2026.3現在

## 【★企業概要★】

- ★ワイ・ケー・ピー工業株式会社 代表取締役社長 可児 将太郎（所在地：岐阜県中津川市）
- ・プラスチック製品製造業（金型設計・製作、プラスチック射出成形、表面処理加工、組立加工）
  - ・従業員数118名（正社員59名、パート及び技能実習生59名）

## 【★導入している福利厚生★】

- （一財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンター提供のサービス（愛称：ジョイセブン）  
⇒映画、レジャー施設、野球観戦等のチケットあっせん・割引制度、ゴルフ大会等の余暇利用、生活習慣病健診等の健診補助等。  
※1人あたり、入会金1,000円、会費月600円。費用は同社が全額負担。
- その他  
⇒月1回のお弁当提供（1食900円程度）、社員旅行（海外・国内）、BBQ大会・忘年会（ビンゴ大会等による景品付き）、共済保険等。

## 【★福利厚生制度の導入理由、導入経緯★】

- （一財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンターに加入した理由は、同社の近隣には大企業の工場が多数あり、自社のみで大企業並の福利厚生を導入するのは困難であった。しかし、同センターに加入すれば安価で多種多様な福利厚生制度を導入でき、会社の魅力向上に役立つのではないかと考えたことから加入した。
- また、お弁当提供や社員旅行等を導入している理由は、従業員間のコミュニケーションを活性化させるため。会社の創業者である会長には「人とつながりがあったから今がある」という思いがあり、従業員同士のコミュニケーションが生まれるような福利厚生制度を導入。

## 【★評判の良い福利厚生制度★】

- （一財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンターの制度では、映画館のチケットや、お菓子の町中津川ならではのお菓子の割引制度が従業員から喜ばれている。また、ゴルフの優待制度を活用する従業員も多く、従業員同士で声をかけ合いゴルフを通じて親睦を深めているとのこと。
- 月1回のお弁当提供は毎回100食分ものお弁当に対応してもらえるお店を探すのに四苦八苦しているが、多くの従業員が、毎回、どのようなお弁当が出てくるのか楽しみにしているとのこと。普段は各従業員バラバラに昼食をとってしまうが、お弁当提供の日は、みんなで会議室で一緒に昼食をとるため、従業員同士の会話の機会が生まれている。

## 【★福利厚生を導入して得られたメリット★】

- 離職率が低いこと。同社は、従業員同士の親睦の場を設けるような福利厚生制度を長年運用し継続してきた甲斐もあり、従業員同士のコミュニケーションが活発で、従業員がお互いにつながりを感じながら良い関係性の中で働いている様子。その結果、入社3年以内の離職者数が、令和2年から令和6年まで毎年1名で推移し、令和7年においては0名となった。
- また、福利厚生制度を採用活動時にも活用。（一財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンターのおかげで、中小企業単独では導入が難しい多種多様な福利厚生サービスを安価で従業員に提供することができており、採用時も近隣の大企業に引け目を感じずに福利厚生制度のPRができています。

## 【★ポイント（他社へのヒント）★】

高額な制度でなくても「社員が一緒に過ごす時間」  
をつくるのが重要  
外部サービスを活用すれば、中小企業でも福利厚生の  
幅を広げられる



★（一財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンターHP  
はこちら→<https://joy7.or.jp/>

